



# ひばりが丘

学校便り

(令和6年度 第13号)

令和7年3月25日発行

札幌市立ひばりが丘小学校

住所 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目3番1号

Tel 011(892)-4802 Fax 011(892)-4497

学校HP <http://www16.sapporo-c.ed.jp/hibarigaoka-e/>

## 令和6年度の締めくくりに寄せて

校長

例年になく3月の降雪が多く、グラウンドや道路脇には雪が残り、今年は春の訪れが遅く感じられます。それでも、木々の新芽は着実にその膨らみを増しているこの頃です。

3月21日、第48回卒業証書授与式を挙行し、小学校6年間の課程を終えた37名の子どもたちがひばりが丘小学校を巣立っていきました。コロナ禍において、様々な学習活動が制限・制約を受けながら歩んできた小学校生活でしたが、教育活動もコロナ禍以前のように活気を取り戻しつつある中、今年は最高学年として、経験不足を感じないくらいパワフルにリーダーシップを発揮し、ひばりが丘小学校を引っ張ってくれた6年生には感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業式式辞の中では、「すべての物事に対し、多面的、多角的に見たり考えたりすることの大切さ」について話しました。卒業式の少し前に行った、校長による授業と関連させた内容です。また、「卒業」という晴れの舞台だからこそ、今一度「感謝」の気持ちを持つことの大切さも伝えたく、式辞の終盤で「人は未来に向かって進む時、必ず様々な困難に出会います。まずはこれまでの経験を生かし、思考を重ね、時に仲間を信頼し、困難に打ち勝つ道を探すこととなります。困難を乗り越えることで得られる経験は自信になり、次の困難に立ち向かう勇気につながります。みなさんは一人ではありません。みなさんの周りには友達や家族、先生方や地域の方が必ず見守ってくれています。みなさんが輝けるよう支えになってくれる人がいるということを忘れないでください。同時に、みなさんがこうして立派に成長するまでには、多くの方々の支えがあったことを忘れず、感謝の気持ちを伝えられる人になってほしいと思います。」とも話しました。これは、卒業生に対してだけでなく、在校生に対しても伝えたい内容なのです。

式辞の最後で、「最大の親不孝は親より先にこの世を去る事。これからも自他の命を大切にしてください。」ということをお伝えしました。真剣なまなざしで話を聞く卒業生たちの表情からは強い決意が感じられましたし、良き伝統となって受け継がれていくことと確信した式となりました。

令和6年度の教育活動も、本日の修了式をもって無事終わることができました。これもひとえに保護者の皆様をはじめ、地域の皆様や本校にかかわるすべての皆様の、ご理解とご協力の賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。

4月からは新しい1年生を迎え、49年目のひばりが丘小学校がスタートします。令和7年度におきましても、皆様には何かとご協力をいただくことになるかと思いますが、今後も一層のご支援をよろしくお願いいたします。



